

平成26年度

稲敷市水道事業会計決算の概要



水道事業会計

工業用水道事業会計

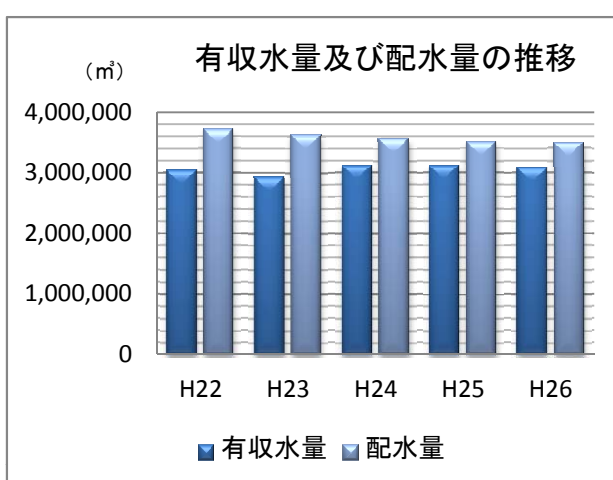
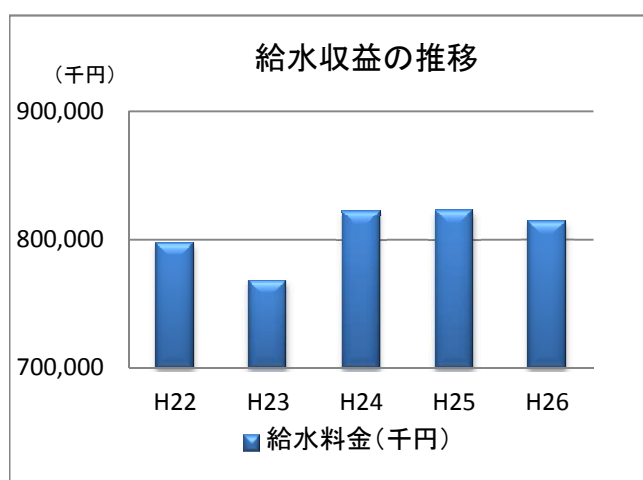
## 平成26年度 水道事業会計決算の概要

### ◎ 総括事項

平成26年度水道事業会計決算において、営業収益の大半を占める料金収入は814,175千円で、前年度に比べ1.1%の減少となり、営業費用は、904,631千円で9.57%の増加となりました。また企業会計制度改正に伴い、総収益においては営業外収益の長期前受金戻入83,469千円が新たに発生し、総費用では原価償却費が増額となったことから前年度に比べ収支とも増加となりました。純利益では前年度より8,379千円減の46,781千円となりました。

建設改良事業では、地区要望の配水管新設工事、県道改良に伴う配水管布設替工事等、7件を実施しました。

給水件数は10,662件で、前年度に比べ66件、0.62%増加し、普及率も前年度より1.2%増の69.0%となります。



### ◎ 業務の実績

項目	単位	平成26年度	平成25年度	増減	増減率(%)
給水区域内人口	人	43,432	44,036	△ 604	△ 1.37
給水人口	人	29,951	30,217	△ 266	△ 0.88
普及率	%	69.0	68.6	0.4	0.58
計画給水人口	人	43,050	43,050	0	0.00
計画給水人口に対する普及率	%	69.6	70.2	△ 0.6	△ 0.85
給水件数	件	10,662	10,596	66	0.62
給水件数(一般家庭用)	件	9,936	9,871	65	0.66
水道新規加入件数	件	144	129	15	11.63
導・送・配水管延長	m	510,893	509,369	1,524	0.30
配水能力	日/m³	14,228	14,228	0	0.00
年間配水量	m³	3,483,571	3,506,924	△ 23,353	△ 0.67
県水受水量	m³	3,113,266	3,135,056	△ 21,790	△ 0.70
自己水源	m³	508,903	505,801	3,102	0.61
年間有収水量	m³	3,070,933	3,107,399	△ 36,466	△ 1.17
有収率	%	88.2	88.6	△ 0.4	△ 0.45
一日平均配水量	m³	9,544	9,608	△ 64	△ 0.67
一日最大配水量	m³	10,792	11,069	△ 277	△ 2.50

◎ 比較損益計算書

(単位:円)

科 目	平成26年度	平成25年度	増減	増減率(%)
<b>事業収益</b>	<b>970,909,529</b>	<b>903,882,116</b>	<b>67,027,413</b>	<b>7.42</b>
営業収益	839,624,320	847,451,325	△ 7,827,005	△ 0.92
営業外収益	131,285,209	56,430,791	74,854,418	132.65
特別利益	0	0	0	0.00
<b>事業費用</b>	<b>924,128,450</b>	<b>848,722,011</b>	<b>75,406,439</b>	<b>8.88</b>
営業費用	904,630,988	825,597,998	79,032,990	9.57
営業外費用	15,022,024	16,744,084	△ 1,722,060	△ 10.28
特別損失	4,475,438	6,379,929	△ 1,904,491	△ 29.85
営業利益	△ 65,006,668	21,853,327	△ 86,859,995	△ 397.47
経常利益	51,256,517	61,540,034	△ 10,283,517	△ 16.71
当年度純利益	<b>46,781,079</b>	<b>55,160,105</b>	<b>△ 8,379,026</b>	<b>△ 15.19</b>
その他未処分利益 剰余金変動額	227,457,397	0	227,457,397	皆増
当年度未処分利益剰余金	<b>719,544,229</b>	<b>498,305,753</b>	<b>221,238,476</b>	<b>44.40</b>

◎ 比較貸借対照表

(単位:円)

科 目	平成26年度	平成25年度	増減	増減率(%)
固定資産	6,194,146,387	8,619,204,973	△ 2,425,058,586	△ 28.14
流動資産	993,769,564	897,685,161	96,084,403	10.70
<b>資産合計</b>	<b>7,187,915,951</b>	<b>9,516,890,134</b>	<b>△ 2,328,974,183</b>	<b>△ 24.47</b>
固定負債	649,819,057	47,841,628	601,977,429	1258.27
流動負債	192,429,566	109,068,187	83,361,379	76.43
繰延収益	1,831,224,455	0	1,831,224,455	皆増
資本金	3,256,712,876	4,022,571,766	△ 765,858,890	△ 19.04
剰余金	1,257,729,997	5,337,408,553	△ 4,079,678,556	△ 76.44
<b>負債・資本合計</b>	<b>7,187,915,951</b>	<b>9,516,890,134</b>	<b>△ 2,328,974,183</b>	<b>△ 24.47</b>

## ◎ 企業債

平成26年度企業債償還額は118,178,325円で、年度末未償還残高は659,008,565円となります。

未償還残高は、これまで企業債借入れを抑制してきたことから毎年減少し、平成25年度未償還残高と比較しますと15.2%の減となります。

### 企業債増減額

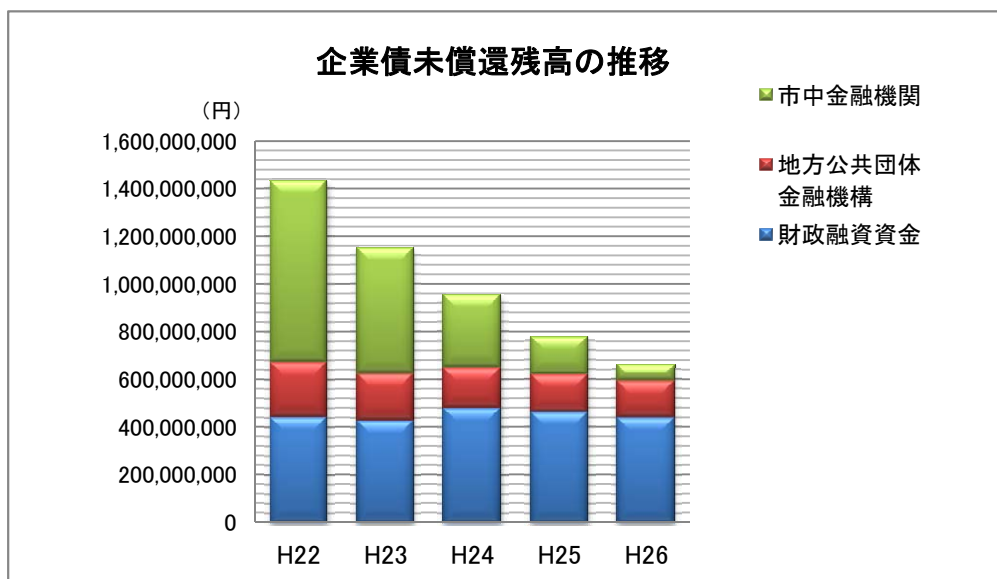
(単位:円)

項 目	発行総額	25年度末残高	26年度		償還高累計額	26年度末未償還残高
			借入額	償還額		
財政融資資金	585,600,000	459,599,540	0	19,842,095	145,842,555	<b>439,757,445</b>
地方公共団体 金融機構	177,200,000	157,583,690	0	6,511,548	26,127,858	<b>151,072,142</b>
市中金融機関	592,900,000	160,003,660	0	91,824,682	524,721,022	<b>68,178,978</b>
合 計	1,355,700,000	777,186,890	0	118,178,325	696,691,435	<b>659,008,565</b>

### 未償還残高の推移

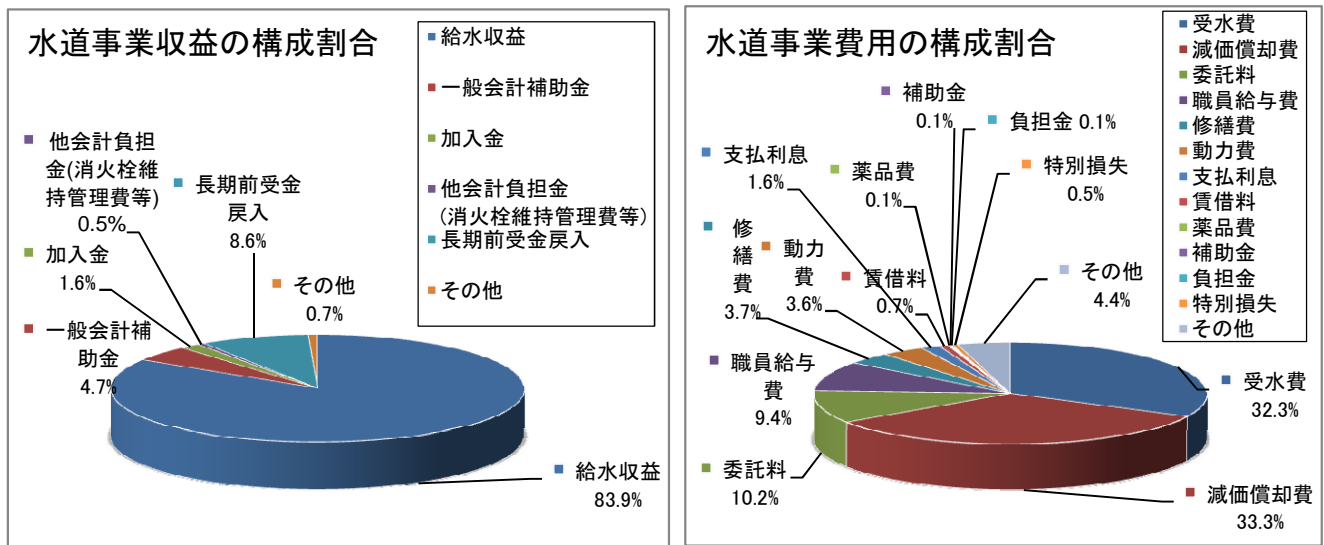
(単位:円,%)

項 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度 (A)	平成26年度 (B)	対前年度増減額 (C)=(B)-(A)	対前年度増減率 (C)/(A)×100
財政融資資金	442,982,512	428,358,306	478,850,805	459,599,540	439,757,445	△ 19,842,095	△ 4.3
地方公共団体 金融機構	230,592,616	195,678,172	170,168,306	157,583,690	151,072,142	△ 6,511,548	△ 4.1
市中金融機関	759,877,995	525,266,016	303,057,625	160,003,660	68,178,978	△ 91,824,682	△ 57.4
合 計	1,433,453,123	1,149,302,494	952,076,736	777,186,890	659,008,565	△ 118,178,325	△ 15.2



## 【平成26年度収益的収支】

水道事業会計のうち、施設の運転、管理等、水道事業を運営するための経費とその財源



### ◎ 水道事業収益の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	26年度(A)		25年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
給 水 収 益	814,175,242	83.9	822,916,212	91.0	△ 8,740,970	△ 1.1
一 般 会 計 補 助 金	45,725,000	4.7	54,781,000	6.1	△ 9,056,000	△ 16.5
加 入 金	15,140,000	1.6	14,125,000	1.6	1,015,000	7.2
他 会 計 負 担 金 (消火栓維持管理費等)	5,281,000	0.5	5,251,000	0.6	30,000	0.6
長 期 前 受 金 戻 入	83,468,807	8.6	0	0.0	83,468,807	皆増
そ の 他	7,119,480	0.7	6,808,904	0.7	310,576	4.6
<b>収 益 合 計</b>	<b>970,909,529</b>	<b>100.0</b>	<b>903,882,116</b>	<b>100.0</b>	<b>67,027,413</b>	<b>7.4</b>

### ◎ 水道事業費用の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	26年度(A)		25年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
受 水 費	298,756,871	32.3	299,699,276	35.3	△ 942,405	△ 0.3
減 価 償 却 費	307,690,082	33.3	233,781,697	27.5	73,908,385	31.6
委 託 料	94,278,742	10.2	92,128,019	10.9	2,150,723	2.3
職 員 給 与 費	86,842,253	9.4	91,957,296	10.8	△ 5,115,043	△ 5.6
修 繕 費	34,295,124	3.7	37,773,236	4.5	△ 3,478,112	△ 9.2
動 力 費	32,954,824	3.6	31,243,609	3.7	1,711,215	5.5
支 払 利 息	14,598,053	1.6	16,635,014	2.0	△ 2,036,961	△ 12.2
賃 借 料	6,794,360	0.7	6,752,760	0.8	41,600	0.6
薬 品 費	1,247,420	0.1	1,422,670	0.2	△ 175,250	△ 12.3
補 助 金	1,166,669	0.1	971,430	0.1	195,239	20.1
負 担 金	747,063	0.1	749,642	0.1	△ 2,579	△ 0.3
特 別 損 失	4,475,438	0.5	6,379,929	0.7	△ 1,904,491	△ 29.9
そ の 他	40,281,551	4.4	29,227,433	3.4	11,054,118	37.8
<b>費 用 合 計</b>	<b>924,128,450</b>	<b>100.0</b>	<b>848,722,011</b>	<b>100.0</b>	<b>75,406,439</b>	<b>8.9</b>

※26年度特別損失: 不納欠損処分4,301,518円

※25年度特別損失: 不納欠損処分6,130,226円

## 【給水原価と供給単価】

### ◎ 給水原価

(経常費用－(受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋附帯事業費＋長期前受金戻入))÷年間総有収水量

効率性の視点から見た指標の判断→「低い」ほうがよい

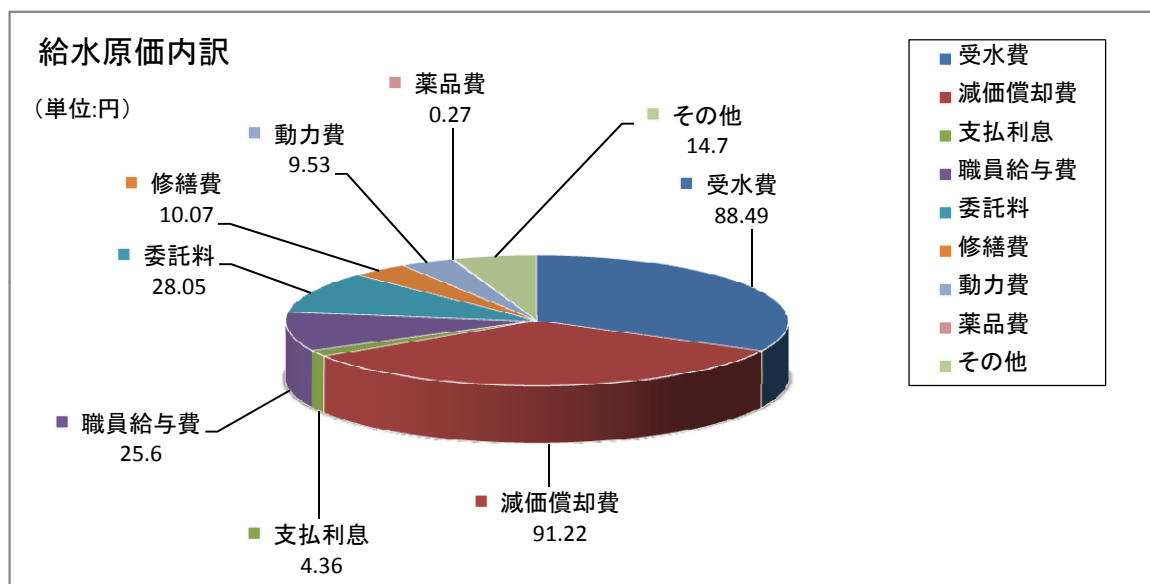
収益につながる水量 $1\text{m}^3$ 当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表すもので、 $1\text{m}^3$ の水を製造するのにいくらかかるかを示す指標です。水道の生産原価を示しています。

#### ・給水原価とその内訳

給水原価の使途はグラフのとおりです。給水原価272.29円のうち受水費と減価償却費が66.0% (179.71円)を占めています。

(単位:円/ $\text{m}^3$ )

区 分	26年度	25年度	24年度	23年度
給水原価(A)	272.29	271.08	277.29	296.74



### ◎ 供給単価

給水収益÷年間総有収水量

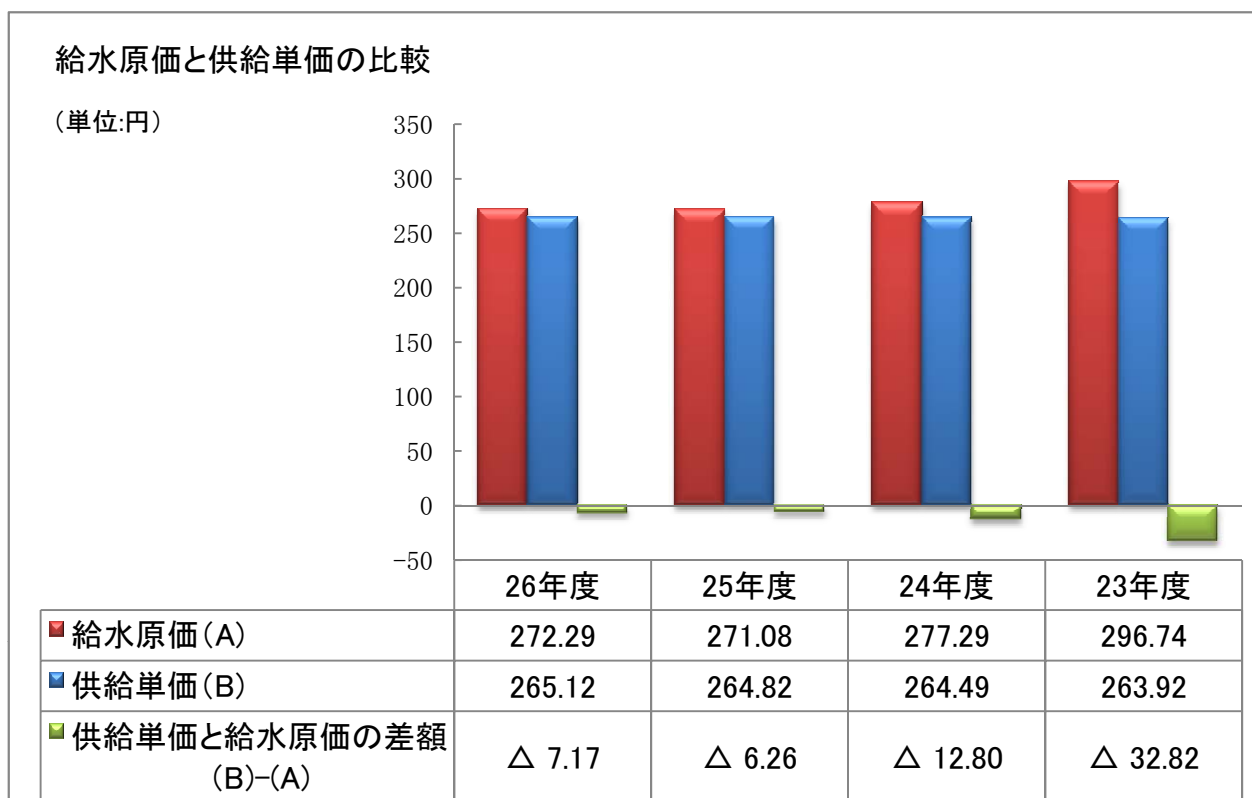
効率性の視点から見た指標の判断→「高い」ほうがよい

有収水量 $1\text{m}^3$ 当たりについてどれだけ収益を得ているかを表すもので、 $1\text{m}^3$ の水を供給したときの平均収入額を見る指標です。

区 分	26年度	25年度	24年度	23年度
供給単価(B)	265.12	264.82	264.49	263.92

◎ 給水原価と供給単価の比較

「給水原価」が「供給単価」を上回っている場合は、給水にかかる費用を補うのに、水道料金以外の収入が必要な状況にあるといえます。1m<sup>3</sup>当たりの水を供給するのにかかる費用と1m<sup>3</sup>当たりの水道料金の平均収入を比較することにより、原価回収されているかをみることができます。供給単価と給水原価の差が、プラスになると利益が出ていることとなりますが、稲敷市の場合、給水原価が供給単価を上回っている状況にあります。



## 【経営分析】

### ◎ 財務分析表

分析項目	平成26年度	平成25年度	県平均 (25年度参照)	解説
1. 自己資本構成比率(%)	88.3	90.2	98.0	総資本に対する自己資本金の占める割合。経営の安定性を判断する指標。
2. 固定資産対長期資本比率(%)	88.5	91.6	90.9	固定資産の調達が長期資本の範囲でまかなわれているかを示し、低いほど安定性が高く100%以下が望ましい。
3. 流動比率(%)	516.4	823.0	643.8	企業の支払い能力を示す。
4. 総収支比率(%)	105.1	106.5	102.4	総費用に対する総収益の割合。総収支の安定性を判断する指標。100%以上が安定的とされる。
5. 経常収支比率(%)	105.6	107.3	105.2	経常費用に対する経常収益の割合。経常収支の安定性を判断する指標。100%以上が安定的とされる。
6. 営業収支比率(%)	92.8	102.6	108.3	業務活動によってもたらされた営業収益と、それに要した営業費用とを対比して業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。
7. 企業債償還額対減価償却比率(%)	38.4	74.9	97.0	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却を比較したものである。
8. 給水収益に対する比率(%)				
(1) 企業債償還元金	14.5	21.3	30.6	料金収入に対して企業債償還額の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(2) 企業債利息	1.8	2.0	7.9	料金収入に対して企業債利息の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(3) 減価償却費	37.8	28.4	31.5	料金収入に対して減価償却の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(4) 職員給与費	9.6	9.8	10.0	料金収入に対して職員給与費の比率を表したものの。比率は低いほど良好。

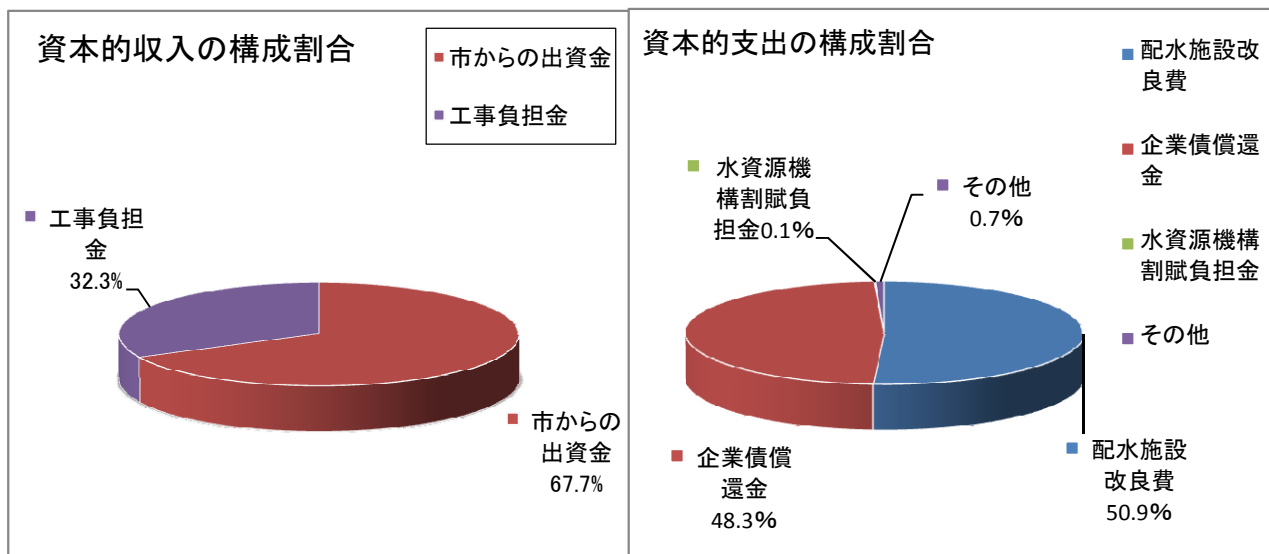
### ◎ 経営分析表

分析項目	平成26年度	平成25年度	県平均 (25年度参照)	解説
1. 施設利用率(%)	67.1	67.5	63.0	配水能力に対する平均の割合を示し、施設の利用度を見るものである。比率は大きいほど良い。
2. 負荷率(%)	88.4	86.8	87.2	施設が年間を通じて有効に使用されているかを示す。比率は大きいほど良い。
3. 最大稼働率(%)	75.9	77.8	72.3	配水能力に対する最大配水量の割合を示し、この率が極端に低いと過大投資を示し、逆の場合は施設の拡充が必要である。
4. 配水管使用効率(m <sup>3</sup> /m)	6.8	6.9	13.5	配水管使用効率は、導・送・配水管の布設延長に対する年間総配水量の割合であり、給水区域の人口密度の影響を受ける。数値が高いほどよいとされている。
5. 固定資産使用効率(m <sup>3</sup> /万円)	5.7	4.1	6.1	有形固定資産に対する年間総配水量の割合。この比率が高いほど施設が効率的であり、低い場合には遊休資産・未稼働資産についての検討を要する。
6. 供給単価(円/m <sup>3</sup> )	265.1	264.8	193.4	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりどれだけの収益を得ているかを表す。
7. 給水原価(円/m <sup>3</sup> )	272.3	271.1	205.0	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりどれだけの費用がかかっているかを表す。
8. 職員1人当の給水人口(人)	2,723	2,518	4,292	
9. 職員1人当の有収水量(千m <sup>3</sup> /人)	279	259	435	人的資源が効率的に活用されているか否かを示す指標であり、数値が大きいほど職員1人当たりの生産性が高いことを示している。
10. 職員1人当の営業収益(千円)	76,329	70,621	88,993	



## 【平成26年度資本的収支】

水道事業会計のうち、水道施設を建設・整備するための経費とその財源



### ◎ 資本的収入の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	26年度(A)		25年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
借入金(企業債)	0	0.0	0	0.0	0	0.0
市からの出資金	11,328,000	67.7	14,145,000	84.4	△ 2,817,000	△ 19.9
国庫補助金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
工事負担金	5,402,160	32.3	2,611,350	15.6	2,790,810	106.9
<b>資本的収入合計</b>	<b>16,730,160</b>	<b>100.0</b>	<b>16,756,350</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 26,190</b>	<b>△ 0.2</b>

### ◎ 資本的支出の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	26年度(A)		25年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
配水施設改良費	124,670,446	50.9	168,514,500	48.4	△ 43,844,054	△ 26.0
企業債償還金	118,178,325	48.3	174,889,846	50.3	△ 56,711,521	△ 32.4
水資源機構割賦負担金	318,720	0.1	305,474	0.1	13,246	4.3
その他	1,750,810	0.7	4,059,585	1.2	△ 2,308,775	△ 56.9
<b>資本的支出合計</b>	<b>244,918,301</b>	<b>100.0</b>	<b>347,769,405</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 102,851,104</b>	<b>△ 29.6</b>

### ◎ 資本的収支の不足額 (税込)

(単位:円)

科 目		26年度(A)	25年度(B)	増減(A)-(B)
<b>資本的収支不足額</b>		<b>228,188,141</b>	<b>331,013,055</b>	<b>△ 102,824,914</b>
補填財源内訳	過年度分損益勘定留保資金	90,276,285	156,517,768	△ 66,241,483
	当年度分損益勘定留保資金	129,570,199	153,551,275	△ 23,981,076
	減債積立金	0	0	0
	建設改良積立金	0	12,862,500	△ 12,862,500
	その他の(当年度消費税資本的収支調整額)	8,341,657	8,081,512	260,145

◎ 工事概況

(1)建設改良工事の概況

(単位:円)

	工事名	施工内容		契約金額(税込)
平成25年度 繰越建設 改良工事	H25稲水 県道改良に伴う犬塚地区配水管 布設替工事	配水管布設工事	L=415.0m	22,344,000
		給水管切替工事	6件	
		既設管連絡工事	L=11.8m	
		既設管撤去工事	L=231.5m	
平成26年度 建設改良 工事	H26稲水 椎塚地区配水管布設工事(その1)	配水管布設工事	L=9.7m	1,846,800
	H26稲水 犬塚本郷・花指地区配水管布設 工事	配水管布設工事	L=332.6m	7,182,000
	H26稲水 犬塚本郷地区配水管布設工事 (1工区)	配水管布設工事	L=819.2m	23,727,373
		給水管切替工事	6件	
		消火栓設置工事	2基	
	H26稲水 犬塚本郷地区配水管布設工事 (2工区)	配水管布設工事	L=524.7m	14,127,987
給水管布設工事		L=70.9m		
H26稲水 旧新利根橋撤去に伴う配水管 布設替工事	配水管布設替工事	L=301.0m	6,426,000	
	給水管切替工事	4件		
H26稲水 県道改良に伴う犬塚地区配水管 布設替工事	配水管布設替工事	L=487.7m	33,573,366	
	給水管切替工事	7件		
	消火栓設置工事	1基		
	消火栓設置替工事	1基		

## 平成26年度 工業用水道事業会計決算概要

### ◎ 総括事項

平成26年度工業用水道事業会計決算において、総収益は9,528千円で、前年度に比べ1,287千円、15.6%の増加となり、総費用は5,402千円で、前年度に比べ2,008千円、27.1%の減少となりました。総収支では4,126千円の純利益となり、前年度の純利益831千円に対し396.3%の増益となります。

### ◎ 業務の実績

業務活動の結果業務量は、次のとおりとなりました。

項 目	単位	平成26年度	平成25年度	増減	増減率(%)
給 水 事 業 所 数	件	7	7	0	0.0
配 水 能 力	日/m <sup>3</sup>	870	870	0	0.0
導・送・配水管延長	m	1,884	1,884	0	0.0
年 間 配 水 量	m <sup>3</sup>	33,029	27,403	5,626	20.5
年 間 有 収 水 量	m <sup>3</sup>	32,775	27,185	5,590	20.6
有 収 率	%	99.2	99.2	0	0.0
年 間 契 約 水 量	m <sup>3</sup>	113,150	120,800	△ 7,650	△ 6.3
一 日 平 均 契 約 水 量	m <sup>3</sup>	310	331	△ 21	△ 6.3
一 日 平 均 配 水 量	m <sup>3</sup>	90	75	15	20.0
一 日 最 大 配 水 量	m <sup>3</sup>	174	190	△ 16	△ 8.4

### ◎ 比較損益計算書(税込)

(単位:円)

科 目	平成26年度	平成25年度	増減	増減率(%)
<b>事 業 収 益</b>	<b>9,527,650</b>	<b>8,240,910</b>	<b>1,286,740</b>	<b>15.6</b>
営業収益	7,935,588	8,214,400	△ 278,812	△ 3.4
営業外収益	1,592,062	26,510	1,565,552	5905.5
<b>事 業 費 用</b>	<b>5,401,601</b>	<b>7,409,468</b>	<b>△ 2,007,867</b>	<b>△ 27.1</b>
営業費用	5,401,601	7,409,468	△ 2,007,867	△ 27.1
営業外費用	0	0	0	0.0
<b>営 業 利 益</b>	<b>2,533,987</b>	<b>804,932</b>	<b>1,729,055</b>	<b>214.8</b>
<b>経 常 利 益</b>	<b>4,126,049</b>	<b>831,442</b>	<b>3,294,607</b>	<b>396.3</b>
<b>当 年 度 純 利 益</b>	<b>4,126,049</b>	<b>831,442</b>	<b>3,294,607</b>	<b>396.3</b>
その他未処分利益剰余金変動額	96,976,488	0	96,976,488	皆増
<b>当年度未処分利益剰余金</b>	<b>117,440,810</b>	<b>16,338,273</b>	<b>101,102,537</b>	<b>618.8</b>

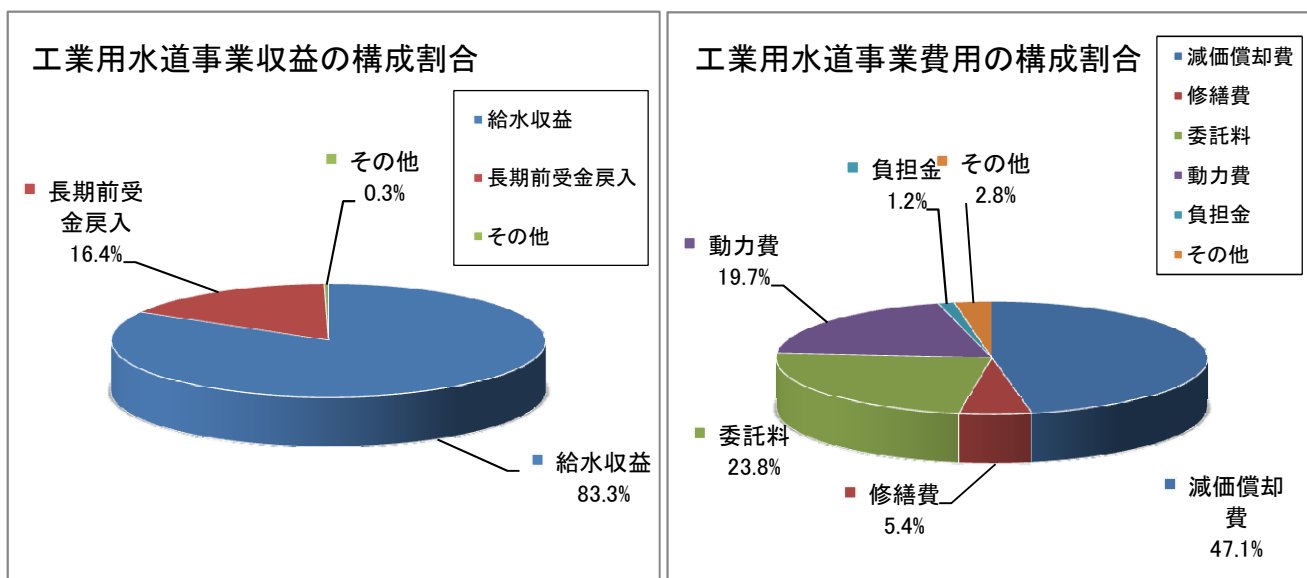
### ◎ 比較貸借対照表

(単位:円)

科 目	平成26年度	平成25年度	増減	増減率(%)
固 定 資 産	42,223,694	44,765,326	△ 2,541,632	△ 5.7
流 動 資 産	120,440,917	114,376,632	6,064,285	5.3
<b>資 産 合 計</b>	<b>162,664,611</b>	<b>159,141,958</b>	<b>3,522,653</b>	<b>2.2</b>
固 定 負 債	6,200,000	6,200,000	0	0.0
流 動 負 債	1,064,777	103,685	961,092	926.9
繰 延 収 益	37,959,024	0	37,959,024	皆増
資 本 金	0	0	0	0.0
剰 余 金	117,440,810	152,838,273	△ 35,397,463	△ 23.2
<b>負 債 ・ 資 本 合 計</b>	<b>162,664,611</b>	<b>159,141,958</b>	<b>3,522,653</b>	<b>2.2</b>

## 【平成26年度収益的収支】

工業用水道事業会計のうち、施設の運転、管理等、工業用水道事業を運営するための経費とその財源



### ◎ 工業用水道事業収益の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	26年度(A)		25年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
給 水 収 益	7,935,588	83.3	8,214,400	86.2	△ 278,812	△ 3.4
長期前受金戻入	1,564,488	16.4	0	0.0	1,564,488	皆増
そ の 他	27,574	0.3	26,510	0.3	1,064	4.0
<b>収 益 合 計</b>	<b>9,527,650</b>	<b>100.0</b>	<b>8,240,910</b>	<b>100.0</b>	<b>1,286,740</b>	<b>15.6</b>

### ◎ 工業用水道事業費用の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	26年度(A)		25年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
減 価 償 却 費	2,541,632	47.1	2,610,548	35.2	△ 68,916	△ 2.6
修 繕 費	291,600	5.4	2,346,500	31.7	△ 2,054,900	△ 87.6
委 託 料	1,286,064	23.8	1,277,220	17.2	8,844	0.7
動 力 費	1,066,448	19.7	954,803	12.9	111,645	11.7
負 担 金	65,800	1.2	68,000	0.9	△ 2,200	△ 3.2
そ の 他	150,057	2.8	152,397	2.1	△ 2,340	△ 1.5
<b>費 用 合 計</b>	<b>5,401,601</b>	<b>100.0</b>	<b>7,409,468</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 2,007,867</b>	<b>△ 27.1</b>